

## 暑熱対策〜残暑見舞い編〜 9月に病気が増える理由

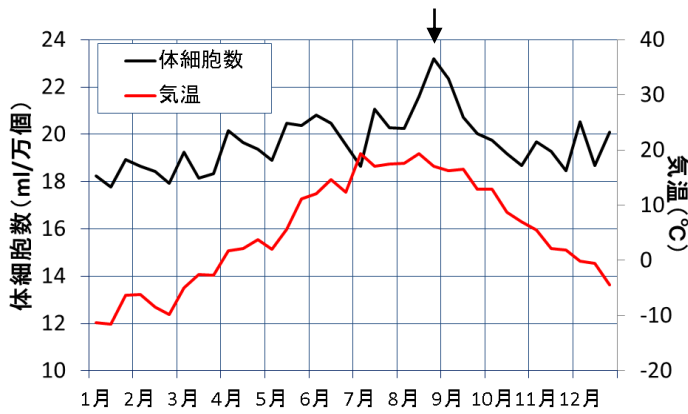


図1 体細胞数と気温の推移(2013年アメダス)

図1は釧路管内A町の体細胞の推移を表したグラフです。気温の高い7月〜8月よりも、9月が最も高くなっています。なぜでしょう？

原因は、「暑熱期のルーメンアシドーシスによる免疫機能の低下」と「9月の残暑」です。これらの要因は乳牛に様々な影響を与えることがわかっています。

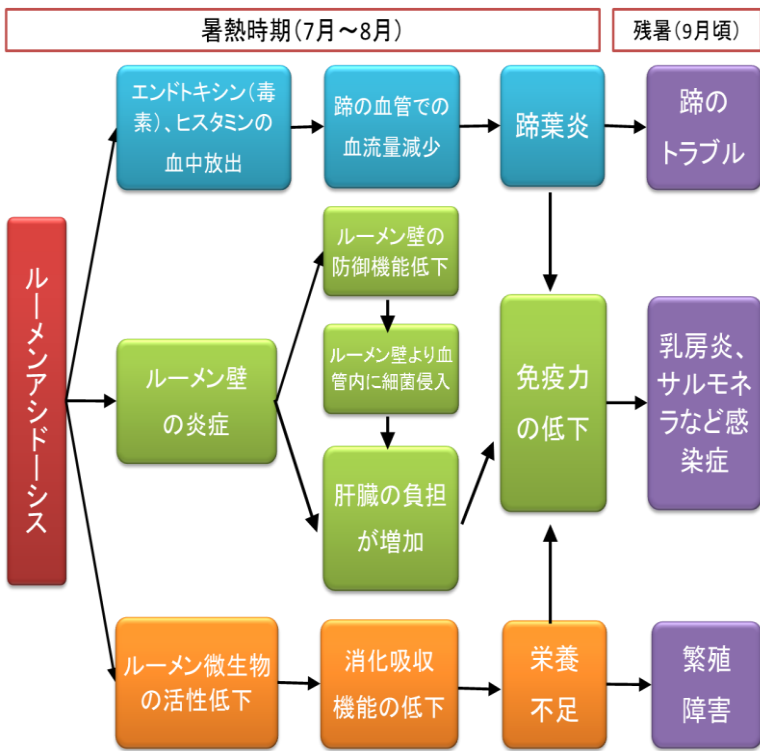


図2 ルーメンアシドーシスによる病気発生プロセス

技術資料「夏バテもうご免！」根室農業改良普及センターより

暑熱時期に乾物摂取量を低下させた乳牛は、ルーメンマットの形成不足と反芻回数低下を伴い、ルーメンpHを低下させ、アシドーシスを引き起こします。「エサ食いが悪い」などと対策を講じないでいると、ルーメン壁で炎症が起こり、肝臓の負担が増加、蹄葉炎や栄養不足と相まって、免疫が低下し、乳房炎に罹患

しやすくなる、というプロセスを踏みます(図2)。また、当地域は9月上旬まで気温・湿度とも8月並に高く、不快指数も高い傾向があります(表1)。9月にこそ、暑いのは人だけではなく、乳生産でルーメンを発酵し続ける牛も同じです。牛も人も残暑を乗り切りましょう！

表1 暑熱ストレスを感じる日は何日あるか

暑熱症状	不快指数 (THI)	7/1~7/31	8/1~8/30	9/1~9/15
暑熱ストレスが始まる	72以上	20日	26日	14日
乳量が急激に低下	77以上	3日	4日	2日

※弟子屈町K地区の過去3ヶ年平均

※不快指数(THI)…温度と湿度を総合して快適さを評価する方法  
 $THI=0.81T+0.01H(0.99T-14.3)+46.3$  T:温度(°C) H:湿度(%)

### 残暑を乗り切る対策

- 消化率の高い草を給与 (チモシー開花期・シバムギは消化率低い)
- 盗食・選り喰いの防止
- ルーメンアシドーシスを抑えつつ、エネルギー・タンパクをしっかり充足
- ミネラル類の増給
- 重曹の利用
- 牛床の乾燥

